

令和2年度「子どもに対するしつけと体罰に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

児童福祉に関わる区職員を対象に、アンケート結果を活用した研修を実施し、児童虐待に関する対応を学ぶとともに、11月の「児童虐待防止推進月間」に「体罰の禁止」の広報・啓発を行う際の参考とさせていただきます。

2 アンケートを実施した感想

「しつけ」と「体罰」について、アンケートを通じて市民の皆様からご意見をいただき、貴重な情報をたくさん得ることができました。特に、Q9の「子どものために必要なしつけとは」やQ10の「しつけと体罰の違い」の質問に対する回答では、様々なご意見をいただいたことで、所管課にとって新たな気づきになり、今後、職員・関係機関向けに研修等を開催する際の参考となりました。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

この度は、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

子どもに対するしつけと体罰に関する率直なご意見をいただくことができ、大変参考になりました。特に、Q1の「体罰の禁止」が法律に明記されたことやQ2の体罰による子どもへの影響について、非常に多くの方に認知いただいているという結果は、今後の広報・啓発を行う際の励みとなりました。

引き続き、様々な媒体を活用した広報・啓発を企画し、児童虐待の防止に向けた取組に力を入れていきます。

担当：こども青少年局こども家庭課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。